

# 2学年だより

小平市立小平第二中学校  
第2学年 学年だより  
第45号  
令和5年3月10日(金)

修了式まで

あと

9日

## 【東京大空襲】

今日3月10日は東京大空襲から78年の日です。

一夜にして10万人以上の人々が亡くなり負傷者は15万人以上、罹災者は300万人にものぼりました。

アメリカ軍は1923年の関東大震災を参考に、住宅が密集し燃えやすい下町を中心に円状に焼夷弾を投下し火災がうちへうちへと流れるようにし、効率よく多くの被害が出る作戦を実行したと言われています。

私の祖父はともにすでに亡くなっていますが、父方の祖父は警察官、母方の祖父は通産省(昔のお役所)の役人でした。祖父の職業がらゆえ、戦争には行っておらず、文京区本郷に多く住んでいた親戚たちにも戦死者はいませんでした。

小学校5年生の宿題「戦争体験者に話を聞いてみよう」では、祖母が本郷から福島に疎開したこと、役人だった祖父は終戦の15日より前に終戦を知っており、祖母にそのことを手紙に書いて送っていた、ということだけしか教えてもらわず正直戦争の怖さ、恐ろしさは私には伝わりませんでした。

それなのに、本当に不思議ですが、私は教員採用試験で平和な世の中の追求を語り、教員になってからは、広島、長崎、知覧と先の大戦を知る地に赴きました。

そしてもっと不思議なことに双子を出産したあと、思ったことは戦時中の母はどのような思いをしながら子どもを育てていたか、ということでした。3時間おきに授乳をし、ところかまわず泣く我が子を抱っこしながら、防空壕で赤ん坊の泣き声で敵にみつかってしまうから、と自決するように言われた母たちの気持ちを想像し、戦争の残酷さ、恐ろしさを感じていました。

なにもできない赤ちゃんのわが子を見て、この子を抱えながら戦火を生きた母たちのことを思っていました。

ウクライナとロシアの戦争が一年を迎えました。多くの方が開戦するまで本当に、いつもと変りない生活を送っていました。

第二次世界大戦が始まる前の日本人に話を聞いた記録があります。

いつの間にか戦争になっていた、気が付いたら戦争に突入していた、と多くの方が話をしています。自分の生活で必死な間に、物価高で生活が苦しい間に、日々の生活を送るのを精一杯なうちに、自分たちのことだけを考えているうちに、いつの間にか戦争になっていた、と。

今は大丈夫でしょうか。あの頃の二の舞にはならないでしょうか。

私は社会科とは命の大切さを教える教科だと思っています。

生きていくためには何が必要だったか、何を犠牲にしながら人類は生き延びたか、どのような戦いがあり、争いがあり、命を奪い合うことでなにが起きたのか。

これまでさまざまな場面で、自分の命と同じように人の命を大事にすることを伝えてきたつもりです。「死ね!」という発している本人からすれば、なんてことのない気軽な言葉も、それはどういうことなのかと話をしてきたつもりです。

東京大空襲から78年。あの日、生きたいと願っていたのに無残にも命を奪われた多くの人の無念に寄り添いながら、平和な世の中の実現と自由に生きられる世の中を築けるように、一人一人が自分のできることを考える日にしてもらえると嬉しいです。

そして、明日3月11日は東日本大震災から12年です。

みんなは1歳か2歳でしたか。

私は今のみんなと同じ中学2年の担任でした。あの日は金曜日。2時46分は総合の時間で聴覚障がいの方をお招きして、被服室で話を聞いていました。あの日の不安、恐怖は忘れられません。

トルコ、シリアで地震があり、多くの犠牲者が出ました。

東京も、日本も例外ではありません。“もしも”はやってくること、備えることの大切さは今までの地震の教訓です。

過去の出来事から学び、今を生きるのが私たちにできることだと思います。



保護者の皆様へ

□ スキー移動教室の写真販売が光雅スタジオさんのご好意により15日(水)までに延長されました。ぜひご活用ください。

□ お仕事のご都合もあると思いますので、現在わかっている来年度の予定をお知らせします。

- ・部活動保護者会 4月21日(金)
- ・新3年生の保護者会 4月25日(火)
- ・引き渡し訓練 4月26日(水)
- ・RIKUTAI 6月3日(土)
- ・第1回進路説明会 6月9日(金) (同じ日に修学旅行説明会も実施予定)
- ・合唱コンクール 10月13日(金)
- ・卒業式 3月19日(火)

現時点での予定となりますので、今後変更の可能性もあります。ご了承ください。

